

土曜日祝日振替休暇、サバティカル休暇、 課題解決休暇



ピープル・デベロップメント統括本部 PD 戦略本部
WLB 推進部 部長

菊地 みずほ さん

企業プロフィール

- 事業内容: インターネット上の広告事業、イーコマース事業、会員サービス事業、その他事業
- 従業員数: 4860名(単体) 6,555名(連結)
(2014年6月30日 現在)
- 年次有給休暇の取得率: 76%
- 年間休日数: 121日
- URL: <http://docs.yahoo.co.jp/>

休んで得た時間の使い方を考え 仕事・家族・社会を見つめ直す

実践!

こうすればできる!
こうすればのびる!

- ① 残業の実態を把握し無理のない制度に
- ② 長期休暇は期間中の給与保障を明確に
- ③ 制度の適用範囲を広げ柔軟に運用を

土曜日が祝日と重なったら金曜日を休みに

「土曜日祝日振替休暇」は、土曜日が祝日と重なったとき、原則として前日の金曜日を休みにして3連休にする制度です。導入にあたり、大型連休がある月の社員のリ残業時間を調べてみたところ、休んだ分を残業して取り戻しているのではとの予想に反して、残業時間は増えていませんでした。仕事の段取りを調整していたのです。そこで連休を増やしても問題はないと判断し、2012年12月から有給の休暇として導入しました。契約社員を含めた全従業員が対象で、取得率は約90%です。「取引先や出向先の企業が休みでないから利用できない」といった声もあり、翌月末までは振替も認めています。

キャリアを見つめ直す最長3カ月の休暇

キャリアを見つめ直すためなら、どんなことに使っても良い休暇として「サバティカル休暇」を設けています。

この休暇を“自分のキャリアを見つめ直す”機会としてもらいたいと考えています。勤続10年以上の正社員が対象で、2～3カ月間の休みを取れます。その間、1カ月間は給与も支給されます。残りの期間に、年次有給休暇や積立有給休暇を当てることもできます。

2013年11月に導入した制度で、取得者、取得申請者を合わせて5名程度です。取得には4カ月前までに申請が必要で、役職者であれば休暇期間中は役職を外れます。取得後には報告書を提出してもらっており、ある女性社員は、「子育てと家庭、仕事、キャリアのバランスを見つめ直すことができた」と書いていました。

誰かの課題解決のために休むという発想

当社はインターネットのサービスを通じて、“社会の課題を解決するエンジン”となることを目指しています。そこで2013年4月から導入したのが「課題解決休暇」です。“自分以外の人の何かしらの課題を解決する”ための有給休暇で、正社員を対象に年度内3日を上限に取得できます。2013年度には500人以上が取得し取得率は約12%でした。取得者は専用のスマートフォンアプリを使って報告書をアップするのが条件です。

課題解決であれば、地域の夏祭りの手伝いや自治会のゴミ拾いなどでも良いのですが、当社は毎年秋に東日本大震災の復興支援の一環として自転車イベント「ツール・ド・東北」を開催しているので、運営支援で道路清掃や

飲料水の配布などに参加する社員が多くいます。

「土曜日祝日振替休暇」「サバティカル休暇」「課題解決休暇」、いずれも仕事と自分、家族、地域、社会のかわりを改めて考えてみる、そのきっかけにしたいと考えています。



制度活用事例

自分が参加することで課題解決につながれば

これまでに「課題解決休暇」を2日間、利用しました。最初に利用したのは、2013年12月です。私が住んでいる千葉市の「子育て支援会」でクリスマス会が開かれることになったのですが、なんと“サンタクロースがいない”。平日に開かれるので、参加できる父親がいなかったのです。子どもたちはプレゼントをもらえないし、そもそも、サンタクロースが来ないとクリスマス会になりません。みんなが直面した“大きな課題”を解決するために使いました。「課題解決休暇」は社内のイントラネットで申請しますが、事由のところには“サンタクロースになるため”と書きました。もちろん上司も喜んで認めてくれました。サンタクロースになったことは、専用アプリを使って写真付きの報告書としてアップしました。それを社員全員で共有できるので、「こういった課題解決でも休んでいいのか」と、みんなが休みを取りやすくなったのではと感じています。

もう1日は、千葉市長と市民との子育てに関する対話集會に参加するために使いました。当日は20名くらいの参加者がいましたが、平日の開催だったので父親で参加していたのは私一人だけでした。参加者からも千葉市長からも「男性が父親としてこういった集會に参加してもらえるのは、とても貴重でありたい」と感謝されました。

制度を通して会社の姿勢を理解しました

サンタクロースになったときも対話集會に参加したときも、集まった人たちとの雑談の中で、「私が勤めるヤフーには『課題解決休暇』という制度があって、それを利用しての参加です」と話しました。「課題解決休暇」という名称がユニークなのか、みなさん興味を示してくれて、ヤフーという会社にも良い印象を持ってもらったのではないかと思います。

「課題解決休暇」の使い方は、他人の課題を解決することでもありますが、見方を変えれば自分の子育てのためでもあります。2日間の休暇を使って私が強く感じたことは、こういった行事に参加したくてもできない父親が多くいて、そういった父親と“同じ目線を持った自分”が参加したことに意義があったのではないかということです。当社は社員に対し、仕事以外の時間でもボランティア活動などを通じて誰かの課題解決を行い、広い意味での社会貢献をすることを望んでいます。同じ目線を持った自分が行事に参加し、意見を伝えることで、それが何らかのかたちとなって“社会の課題を解決する”ことに結びついていく、そんなことを願っています。



システム統括本部
情報システム本部
開発2部統括システム

森翼さん